

令和4年度 通常総会・資料

ながの環境パートナーシップ会議

日時：令和4年7月4日（月）午後6時 30 分～

場所：長野市ふれあい福祉センター5階大ホール

ながの環境パートナーシップ会議通常総会次第

日時：令和4年7月4日

1 開 会

2 議 事

【第1号議案】

(1) 令和3年度活動報告について

①ながの環境パートナーシップ会議の活動概要 (P 1～)

②プロジェクトチームの活動報告 (P 6～)

プロジェクト名		R3 活動報告 ページ	R4 目標・活動 計画等 ページ
①	生ごみ削減・再生利用	7	24
②	市民の森づくり	9	25
③	太陽エネルギー普及促進	—	—
④	聖山自然復元	—	—
⑤	子どもの環境学習支援	—	—
⑥	ながのカーボンオフセット	—	—
⑦	松代オオムラサキの里 ※旧名：小生物の育成環境保全	10	26
⑧	生態系豊かな、水に親しめる川づくり (水環境保全)	11	27
⑨	ゴマシジミ保護・育成	12	—
⑩	田中さくら公園作り&里山づくり	13	28

(2) 令和3年度収支決算報告について (P 14～)

(3) 令和3年度監査報告について (P 18)

【第2号議案】

(4) 令和4年度運営方針(案)について (P 19～)

(5) 令和4年度活動目標・活動計画(案)について (P 23～)

(6) 令和4年度収支予算(案)について (P 29)

【第3号議案】

(7) 役員(理事・監事)の選任について (P 30～)

【その他】

(8) 自由討議
テーマ～今後のP会議の活性化について～

3 閉 会

令和3年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

令和3年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、広報活動などに取り組みました。また、平成29年度に見直しを行った、本会の行動指針である「アジェンダ21 ながの環境行動計画」に基づき、事業者・他団体との連携など、新たな協働による環境活動を展開しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により活動に大きな影響がありました。

1 各プロジェクトの活動

(1) 令和3年度の各プロジェクトの取り組み

①	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	活動報告書のとおり
②	市民の森づくりプロジェクト	活動報告書のとおり
③	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	休会
④	聖山自然復元プロジェクト	休会
⑤	子どもの環境学習支援プロジェクト	休会（令和4年度から解散）
⑥	ながのカーボンオフセットプロジェクト	休会
⑦	小生物の育成環境保全プロジェクト （松代オオムラサキの里プロジェクト）	活動報告書のとおり
⑧	生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全） プロジェクト	活動報告書のとおり
⑨	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	活動報告書のとおり
⑩	田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト	活動報告書のとおり

(2) プロジェクトサポーター制度について

4つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名
生ごみ削減・再生利用	長野市委託清掃事業協同組合
子どもの環境学習支援（解散）	直富商事株式会社（協働終了）
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社
生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）	株式会社公害技術センター

(3) 信州大学工学部「地域環境演習Ⅰ」の受け入れ

信州大学工学部の「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習Ⅰ」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、令和3年9月18日（土）には、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【受入チーム】生ごみ削減・再生利用プロジェクト、小生物の育成環境保全プロジェクト

2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

(1) 第11回ながの環境団体大集合

令和3年度は、「みんなの未来を考えよう」をテーマに開催しました。

【開催日時】2022(令和4)年1月30日(日) 13:30~16:00

【会場】ZOOM 開催(YouTube 配信あり) (リアル会場: 勤労者女性会館しなのき)

【主催】ながの環境パートナーシップ会議

【共催】特定非営利活動法人長野県NPOセンター、長野市地球温暖化防止活動推進センター

【当日参加者数】ZOOM 参加 27名 (講師・発表者含む)

YouTube 視聴 当日 25名、5/24 現在 136ビュー

【プログラム】

13:30 開会・挨拶

13:35 講演1 ながの環境パートナーシップ会議 河西理事

13:50 講演2 信大工学部「地域環境演習」に参加した学生とチームの発表
(生ごみ削減・市民の森・小生物)

14:20 講演3 北村優斗氏講演「海洋ゴミ問題解決に清走中というソリューションを」

14:40 休憩

14:45 意見・感想交換会 (グループ)

15:25 意見・感想交換会 (全体)

16:00 閉会

【意見・感想交換会 (グループ) のテーマ】

講演1、2を聞いて (環境問題全般)、講演2 (小生物) を聞いて、北村氏の講演を聞いて、フードロスについて、プラスチックごみについて、環境問題をもっと身近に考えるには? (以上から2つを選び、それぞれ20分ずつ2グループに参加)

【支援団体】実施に際し、長野市地球温暖化防止活動推進センターの支援をいただきました。

※ 地域まるごとキャンパスで応募いただいた3名の学生の皆様にも運営としてご活躍いただきました。

3 広報

(1) ホームページの運用

- ・ 各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・ 他団体などから情報提供されたイベント等を掲載

(2) 令和2年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに令和2年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】表紙4P 本文16P 中綴じ仕上げ

【内容】ながの環境パートナーシップ会議の案内、活動成果報告、信州大学工学部地域環境演習報告

(3) 電子メール及びfacebookの活用

電子メールにて本会会員、関係機関及び長野市役所職員宛へ各プロジェクトチーム等が開催するイベントの情報発信をしています。また、facebookのページを作成し、会員以外の方にも情報発信を行っております。

4 他団体との連携

(1) 活動の連携

【生ごみ削減・再生利用プロジェクト】

長野市生活環境課と定例会にて協議フォロー、信州環境フェア・キッズ農園のイベント補助等で協働しました。

【市民の森づくりプロジェクト】

長野市森林いのしか対策課と森林整備、指導で協働しました。

【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】

長野市開発公社と長野市霊園での保護活動で協働しました。

浅川小学校とワレモコウの育苗・植栽で協働しました。

(2) 長野市環境こどもサミットに参加協力

こども達が環境問題を理解し、地球環境について深く考え、今後の活動を契機となる場を提供するため、毎年環境こどもサミットが開催されています。本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

なお、新型コロナウイルス感染対策のため、参加者の規模を縮小し、各団体のブース展示を取り止めたため、P会議としての参加はありませんでした。

【開催日時】令和3年10月31日（日） 午前10時～正午

【場 所】長野市勤労者女性会館しなのき

【参加者数】1人（実行委員として）

(3) 他の環境団体等への周知

令和2年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。また、各新聞に記事として取り上げられるなど環境活動をPRしました。

5 会議

(1) 通常総会（書面開催）

日 時：令和3年7月5日（月）

提出された表決書数：89

内 容：令和2年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

令和3年度運営方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を10回開催しました。
第8回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催しました。

回 数	開 催 日 時	参加者数	備 考
第1回	6 月 10 日 (木) 18:00～	7 人	
第2回	7 月 27 日 (木) 18:00～	8 人	
臨時	11 月 2 日 (火) 18:00～	11 人	学生参加
第3回	11 月 12 日 (金) 18:00～	7 人	
第4回	12 月 16 日 (木) 18:00～	8 人	
第5回	1 月 13 日 (木) 18:00～	11 人	環境団体大集 合リハーサル
第6回	3 月 17 日 (木) 18:00～	7 人	
第7回	4 月 25 日 (月) 18:00～	10 人	
臨時	5 月 27 日 (金)	9 人	書面開催
第8回	6 月 2 日 (木) 18:00～		合同会議

(3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

6 市政等への参画

審 議 会 等 名 称	会 員 名
長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員 長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員 豊かな環境づくり長野地域会議運営委員	金井 三平
長野市環境審議会委員	赤羽 和春
長野市健康増進・食育推進審議会委員	佐藤 敏夫
長野市廃棄物減量等推進審議会委員	河西 弘明
長野県緑の基金理事	片桐 勝治
長野市環境こどもサミット実行委員会委員	小山 勝宏

7 その他

(1) 寄附

令和4年1月14日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約80の事業所でつくる同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレットペーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレットペーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

【寄附金額】57,600円

(2) 会員

令和4年5月末現在の会員数：148（令和3年5月末：170）

(3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成24年度：	4,176人
平成25年度：	3,638人
平成26年度：	3,566人
平成27年度：	3,766人
平成28年度：	4,112人
平成29年度：	4,629人
平成30年度：	4,842人
令和元年度：	4,588人
令和2年度：	1,814人
令和3年度：	1,805人

令和3年度活動報告書		
ながの環境パートナーシップ会議【総括表】		   
ビジョン	山にみどり・川に清流・谷に風・空の星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの	
基本方針	環境問題に関わる人や団体を結び(つなぐ)、情報を共有する(伝える)し、共に活動(行動する)する役割を担うことにより、環境保全に向けたネットワークを築き、地球環境問題へと視野を広げながら、地域から地球規模に広がる環境保全活動を推進し、環境ビジョンの実現を目指していく。	
活動方針	①アジェンダの推進 ②協働の拡大と連携強化 ③広報ツールとして活動成果報告書「手をむすんで」を刊行 ④民間団体助成金の活用を推進	
実施プロジェクト等	①	生ごみ削減・再生利用プロジェクト ※会員数:17
	②	市民の森づくりプロジェクト 会員数:24
	③	太陽エネルギー普及促進プロジェクト 会員数:7
	④	聖山自然復元プロジェクト 休止
	⑤	子どもの環境学習支援プロジェクト 休止
	⑥	ながのカーボンオフセットプロジェクト 会員数: 2
	⑦	小生物の育成環境保全プロジェクト 会員数:36
	⑧	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト 会員数: 1
	⑨	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト 会員数:6
	⑩	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト 会員数:10
	※事業者・団体の会員数は1と数える。また、複数のプロジェクトに所属している者は両方で数えるので、全体の会員数とは一致しない。	
活動実績	実施期間	内容 人数
	R3.6～R4.5	生ごみ削減・再生利用プロジェクト 546
	R3.6～R4.5	市民の森づくりプロジェクト 179
	R3.6～R4.5	聖山自然復元プロジェクト(聖山高原県立公園地域会議出席) 1
	R3.6～R4.5	小生物の育成環境保全プロジェクト 423
	R3.6～R4.5	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト 152
	R3.6～R4.5	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト 2
	R3.6～R4.5	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト 154
	R4.1.30	第11回ながの環境団体大集合 163
	R3.6	令和3年度通常総会(書面開催)【提出された表決数】 89
	R3.6～R4.5	理事会 78
	R3.6～R4.1	地域まるごとキャンパス実行委員会 2
	R3.7～R4.1	地域まるごとキャンパス 学生参加 9
	R2.6～R4.3	信州大学工学部 地域環境演習(学生数はプロジェクト報告に含む) 1
	R3.6～R4.3	長野市環境こどもサミット 実行委員会及び本番 6
	R4.3	令和2年度活動成果報告書「手をむすんで」発行 -
	一年間の活動・参加者数 1,805	
成果・課題	《活動の成果》 ・10プロジェクトを推進。 ・活動成果報告書「手をつないで」を発行し関係団体へのPRや新規会員の勧誘時等で活用した。 ・ホームページにバナー広告を掲載。また、facebookを利用した情報発信を行った。 《今後の課題》 ・環境保全活動の協働の推進(プロジェクトサポーター制度の推進等) ・会員の高齢化による活動力の低下が懸念されるため、市民・事業者・行政の協働による取組を更に推進するとともに若者や事業者を含む新規会員の勧誘を促進する。	
	・令和4年5月末現在の会員数:148 うち個人:120、事業者・団体:28 (令和3年5月末現在の会員数:176) ・ながの環境パートナーシップ会議の活動への参画者	
	平成22年度: 2,790人	
	平成23年度: 4,116人	
	平成24年度: 4,176人	
	平成25年度: 3,638人	
	平成26年度: 3,566人	
	平成27年度: 3,766人	
	平成28年度: 4,112人	
	平成29年度: 4,629人	
	平成30年度: 4,842人	
	令和元年度: 4,588人	
	令和2年度: 1,814人	
	令和3年度: 1,805人	

令和3年度活動報告書													
プロジェクト名			生ごみ削減・再生利用プロジェクト										
理想の街	・市民一人ひとりが生ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち ・生ごみの大半がリサイクルされ再生利用システムの推進、可燃ごみが大幅に減少しているまち ・地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化・再資源化に取り組む地域循環型のまち												
数値目標	・可燃ごみに占める生ごみの割合を35.4%にする。 ・市が推奨する生ごみ自家処理(水切り・堆肥化等)を2つの住民自治協議会との協働で奨励できた。 ・キッズ生ごみ農園クラブの年間家族会員は台風19号被害で8家族に減ったが、日本無線(株)の加入により18家族となった。ミズコンポスト2号機の完成により生ごみ堆肥約4500を製造農園に活かした。												
行動計画	①生ごみ削減・再生利用の啓蒙・啓発キャンペーン活動は、新型コロナウイルス対策のため展示が全て中止、講習会は2件実施できた。 ②市生活環境課とみどりの市民の協力による講習会は、コロナ対策のため縮小となった。 ③「キッズ生ごみ農園クラブ」の活動は、台風19号被害からの復旧が進み、ミズコンポスト1号機を修復し2号機を稼働することで、より多くの生ごみ堆肥を製造し野菜作りに活かした。 ④麦ストローの製造に向けて、「ふぞろいのむぎストロープロジェクト」塚田真由さんと面談し、今後の効果的な麦ストロー作り(青麦刈りが必要)の道を探る契機となった。												
活動計画	①新型コロナウイルス対策のため信州環境フェア・アモーレフェスタの展示、ながの環境フェアの出店が中止となった。 ②「生ごみ実践減量講座」は、安茂里自治協(17人参加うち学生4名)若槻自治協(21人参加)にて実施できた。 ③キッズ生ごみ農園クラブの会員は、台風19号の被災等の影響により8家族に減ったが、日本無線の10口加入で参加者数の増加が見込まれる。 ・生ごみ堆肥は2号機が可動し、増産(約4500)出来たので野菜等の生産に活かし、栽培種も増やせた。												
活	月	日	内容		人数	月	日	内容		人数			
	6	3	耕運作業、苗植付け、草取り		2	12	4	麦種まき、麦焙煎、支柱撤去など		15			
5		麦用ハゼかけ設置		2	15		おでん大根収穫		4				
6		黒豆・大豆等の種まき&草取り		2	25		地代払い、藁運び		4				
12		安茂里自治協生ごみ堆肥化講座		25	～28		ミズコンポスト養生、堆肥切り返し		5				
18～		男女簡易トイレ作り		6	1	2	藁運び、		1				
23		FM善光寺収録		1		8	温床に春野菜の種まき		1				
24～		玉ねぎ収穫祭・麦刈り・生ごみ堆肥切り返し		32		9	ソルガムレシピ試食会		2				
28～		大根・白菜・キャベツ収穫		4		13～	zoom講習会、麦ストローの交渉		5				
30		トマト・カボチャ苗植え、草刈り		2		24	ライ麦製粉、もち麦精麦依頼		2				
7		野菜土寄せ、誘引、草取り		8		30	環境団体大集合リモート開催		6				
7	14～	麦刈り、草取り		6	2	3	堆肥に藁とビタピー5入れて切り返し		2				
	17～	ながの環境フェア委員会		3		8	ライ麦製粉、もち麦精麦引き取り		2				
	24	ジャガイモ収穫		22		25	生ごみ堆肥追肥作り、支柱立てなど		6				
	25	若槻自治協生ごみ堆肥化講座		27		26	お祓い、玉ねぎ追肥、野焼き		7				
	26～	ライ麦収穫脱穀、草刈りなど		8		13	大豆脱穀、洗浄、堆肥切り返し		7				
	8	1	ジャガイモ収穫祭		26	3	21	ソルガム種子「七二会の会」視察		4			
2～		トマト・ナス整枝、草刈り、倉庫整理		10	～26		堆肥篩い掛け、石灰散布耕運作業		6				
9～		農場草刈り、草取り、生ごみ堆肥切り返し		12	～30		畝作り、大根・長ネギなど種まき		4				
20～		黒小豆収穫、耕運作業、草取り、		12	4	3	種ジャガイモ植付け、納豆作り		17				
30		ハウス整理、保管庫設置、草刈り		4		12	中玉トマト苗植付け、ゴボウ種まき		2				
2～		耕運作業、種まき、草取り		12		18	信大地域環境演習ガイダンス		5				
12～		苗床造り、種まき、施肥、草取り		14		～20	草刈り、絹サヤ誘引草取り		4				
17～		農作業、枯草焼き、堆肥切り返し		10		29	夏野菜植付け、種まき、耕運作業		17				
2～		農作業、種採り、耕運作業		9		30	霜よけ作業のなど		2				
9		10～	うろ抜き、草取り		6	5	2	枝豆苗手入れ		1			
	25	小松菜など収穫、種まきなど		14	～15		絹サヤの収穫		4				
	10	2～	野菜うろ抜き・収穫、草取り		10								
		19	トマト種採り、耕運作業		3								
		24	野菜収穫、秋の種まき、草取り		15								
	11	1	耕運作業、種まき、堆肥切り返し		6								
		6	菊芋・大根掘り、野菜収穫など		15								
		7	アモーレフェスタ		58								
		14	麦トウミ掛け		2								
		21	玉ねぎ植付け、施肥、収穫祭準備		10								
23		大根・秋野菜の収穫祭・麦種まき		17									
30		麦種まき準備・畝作り、堆肥切り返し		3									
一年間の活動・参加者数										546			

成果課題	《活動の成果・課題》 ・成果としては、日本無線の10口加入により、家族会員の加入で幼少児の参加があり、生ごみ持参による早期からの環境教育が期待できる。また、生ごみ堆肥の作製と共に農作物の栽培に活かすことを、見て、育て、味わっていただけたことです。特にミズコンポスト1号機2号機ともに会員に親しまれ、出来た生ごみ堆肥を農園の利用だけでなく、自宅で利用する人にも提供できるようにになり、食と農の循環システムが動き出しました。 ・一方で生ごみ堆肥化の啓蒙活動や収穫祭の参加者公募はコロナウイルス感染対策により限られ、新規会員の増員が見込めません。そこで、コロナ対策による自粛生活が肉食の増加や食品ロス見直しにより、生ごみの減量に目を向けるために、どのような発信が有効かを考えることが必要です。特に我々高齢者が苦手なSNSやインターネットによる情報発信を信大生とどのようにコラボしたら良いかというのが課題です。 ・環境だけでなくSDGsの面から、生ごみ減量生活が持続可能な社会に繋がることを伝えたい。	
	《サポーター企業との活動》 コロナウイルス感染症対策のため今年も特に活動は行えませんでした。	
	長野市協力課等	取組内容
協力等	生活環境課	定例会にて協議フォロー、信州環境フェア・キッズ農園のイベント補助など

令和3年度活動報告書								  			
プロジェクト名				市民の森づくり							
理想の街	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち										
	前年以上の市民、他団体との連携を図る 市民の森づくりに500人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする										
	・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、多くの人に参加してもらい、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行い、また活動の広がりへの検討を重ねる。 ・地元住民との交流や多くの他団体、個人、事業者との連携を図る。 ・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。										
	・森林整備(8～12月、4、5月) ・秋の里山散策(10月) ・工作体験、自然観察(8月、10月) ・里山遊び(かんじき体験)(3月) ・きのこの駒打ち体験(4月) ・仮称第二の市民の森候補地の実施計画立案 ・事業者、他団体との協力、連携を図る										
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数			
	6	12	森林整備作業	8	11	27	製材機の冬囲い	7			
		20	市民の森総会	21	11	27	定例会議	10			
		27	森林整備作業	6	1	22	製材小屋雪下ろし	6			
			定例作業日以外の整備	8	3	10	定例会議	4			
	7	10	森林整備作業	7	4	21	定例会議	10			
		25	森林整備作業	13		23	看板設置	7			
		29	定例会議	8							
			定例作業日以外の整備	13							
	8	8	森林整備作業	7							
		9	臨時会議	7							
		13	臨時総会	9							
		22	機材整備、片付け	15							
	9	18	地域環境演習発表	5							
	10	21	定例会議	8							
	一年間の活動・参加者数							179			
	成果・課題	《活動の成果》 本年度は、信州大学生の地域環境演習の受入は実施できた物の、整備作業を始めとした活動は8月から休止となり、活動参加者の目標500名を達成する事が出来なかった。									
《今後の課題》 活動再開に当たっては、各作業の安全対策の再検討を実施し、より一層の安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業を進める。 活動参加者の固定化傾向のある中、更なる活動の広がりや、活動の多様性を考えると会員数の増加は必要である。他のチームなどとも協力し、体験会なども活用の上、活動の輪を広げて行きたい。											
《サポーター企業との活動》 なし											
長野市協力課等				取組内容							
森林いのしか対策課				森林整備、指導							

令和3年度活動報告書											
プロジェクト名			小生物の育成環境保全プロジェクト (松代オオムラサキの里プロジェクト)								
理想の街	オオムラサキの里(竹ノ入)の学習林としての環境整備を進めて30年近くになり、当初の目的に近づいてきた。各学校の総合学習、コミュニティスクールを通じて環境教育の啓発に学校から認められてきている。近隣の住民からも環境整備の応援を頂くようになった。オオムラサキ・ジャコウアゲハ・アサギマダラ・アゲハチョウなど随時観察できる環境になってきている。癒しの森として次世代につなげたい。										
	数値目標	里山の生物全体の育成環境整備に努めカブトムシ・クワガタムシの発生を促す。また、フクロウの生息が確認できたので巣箱をかけて定着をはかる。									
行動計画	1. 竹ノ入に生息する生物の調査を進めるため観察用カメラを設置する。 2. カブトムシ・クワガタムシの育成床を設置し、拡充を図る。カブトムシは既に設置し去年は50匹ほど発生した。 3. 生物の頂点にいるフクロウの定着を促すため巣箱を増設する。 4. 巨木になったエノキの間伐をして空間を増やし、光が入る明るい森にする。迷惑木、外来種のニワウルシの除伐をさらに進める。 5. 各小学校に設置したオオムラサキ育成塔の整備を図り随時観察できる環境づくりをしてきた。子供たちが関心をもつような誘引施設の拡充と定着を図る。環境教育の原点はここにあると思う。										
	活動計画	1. オオムラサキ観察会の実施 2. 竹ノ入に生息する生物の調査。 3. カブトムシ・クワガタムシの育成床の設置。 4. 生物の頂点にいるフクロウの定着を促すため巣箱を増設。 5. 巨木になったエノキの間伐をして空間を増やし、光が入る明るい森にする。 6. 各小学校に設置したオオムラサキ育成棟の整備。									
実績	月	日	内容		人数	月	日	内容		人数	
	6	5	竹ノ入 整備作業		13	2	19	竹ノ入除伐材整理作業		4	
	6	24	観察会準備		12	3	5	竹ノ入除伐材整理作業		4	
	6	29	まきば保育園観察会		67	3	12	竹ノ入除伐材整理作業		4	
	6	30	東条小学校観察会		39	3	14	除伐材整理作業		3	
	7	4	一般市民対象観察会		74	3	18	除伐材整理作業		3	
	9	8	寺尾小、豊栄小観察会		50	3	30	カブトムシ育成床設置作業		5	
	9	18	定期総会 事前会議		9	3	30	テント設置作業		5	
	9	19	テント撤収作業		4	4	2	竹ノ入エドヒガン鑑賞会		20	
	9	23	定期総会 伝承館		4	4	6	竹ノ入エドヒガン鑑賞会		16	
	11	7	竹ノ入 整備作業		10	4	15	町内3小学校 飼育舎設置		5	
	11	25	竹ノ入除伐材整理作業		5	4	18	信大地域環境演習説明会		2	
	11	28	竹ノ入除伐材チップ作業		5	4	24	信大生現地視察		13	
	11	23	越冬幼虫調査		10	4	25	信大生現地視察		11	
	12	11	フジバカマ焼却作業		4	4	28	フジバカマ草取り		7	
	12	15	フジバカマ焼却作業		3	5	8	信大生竹ノ入調査		12	
	一年間の活動・参加者数										423
成果・課題	《活動の成果・課題》 学校が総合学習・コミュニティスクールの時間で利用して頂けるようになった。近くのまきば保育園が随時園内に入り利用していただけるようになり自然保護教育の一助になってきている。 フクロウの巣を設置したが、未だ営巣には至らない。引き続き整備を行う。 課題は随時園内に入れるよう安全・安心の森作りに務め、生息する生物の「見える化」に取り組む。また、高齢者集団の中に若い集団が参画しやすい組織のありかた、雰囲気作りに取り組む遊び心が必要である。										
	《サポーター企業との活動》										
長野市協力課等			取組内容								

令和3年度活動報告書					6 自然豊かな水辺に 生き生きと		17 パートナースHIPで 環境を良くしよう	
プロジェクト名		生態系豊かな、水に親しめる川づくり						
理想の街	自然豊かにして清らかな川は、大気土壌と動的平衡を保ち生物の多様性に潤ったまち							
数値目標	①生態系豊かで、水に親しめる川づくりに向けた、行動指針を検討する。 ②ながの環境パートナーシップ他の団体の活動に協力する。							
行動計画	①生物多様性に向けた水辺環境改善及び生態系豊かな水に親しめる川づくり地の調査 ②長野市主催の環境学習会水生生物調査「夏の川遊び1, 2」への協力 ③公開学習会2021及び第10回ながの環境団体大集合への参加							
活動計画								
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	7	31	水生生物調査「夏の川遊び1」	2				
一年間の活動・参加者数							2	
成果・課題	これまでの国土交通省理念に基づいた多自然型川づくりは道半ばで終了した、生物多様性をコンセプトとした水辺環境の復元を目指していきたい。							
《サポーター企業との活動》								
長野市協力課等				取組内容				

令和 3(2021) 年 度 活 動 報 告 書													
プロジェクト名			ゴマシジミ保護・育成【浅川地区住民自治協議会】										
理想の街	「ふるさと創生」活動の一環として地区内住民の意識の高揚とボランティア参加の醸成を図り浅川の特徴である中山間地と平野部の融合を徐々に深め、また子ども達からお年寄りまでの交流を図り次世代への財産として繋がればと考えている。まちづくり計画に位置している「ゴマシジミの保護・育成」をとうして里山の整備、自然環境の保全の大切さを学んでいければと継続的な活動を行う。												
数値目標	1) 小・中学生を含め地元愛好家・ボランティア組織の参加を仰ぎ年間延べ200名位を目安に活動を行う。 2) 生息地の植栽(ワレモコウ)を延100名位で行う。 3) 生息地のパトロールを7月25日から8月末まで巡回パトロールを行う。(延80名)												
行動計画	・他動植物との関連 ・シワクシケアリの発見 ・ワレモコウの発芽と植栽 ・各関係機関と協力し共生昆虫の調査を行う												
活動計画	・ワレモコウの栽培4月中旬 ・生息地の草刈り間伐 ・生息地のパトロール(ローテーションによる)「8月末、9月」												
活動実績	月	日	内容			人数	月	日	内容			人数	
	4	3	ワレモコウ確認			2	9	20	監視カメラ撤去作業			2	
	6	11	草刈り			2	9	22	ワレモコウ穂先調査			2	
	7	22	監視カメラ設置作業			3	9	27	ワレモコウ確認			2	
	7	28	ゴマシジミ生息調査(初確認)			2	10	10	草刈り、ワレモコウ移植			3	
	8	6	ゴマシジミ生息調査			2	10	20	看板・ロープ回収			3	
	8	8	ゴマシジミ生息調査			3	10	22	ワレモコウ移植			5	
	8	9	ゴマシジミ生息調査			2	11	2	枯れ草刈り			3	
	8	11	ゴマシジミ生息調査			2	11	5	浅川小学校ゴマシジミ勉強会			60	
	8	16	パトロール開始 以降毎日実施			42							
	8	26	ゴマシジミ生息調査			2							
	8	29	ゴマシジミ生息調査			2							
	9	3	ゴマシジミ生息調査			2							
	9	5	ゴマシジミ生息調査			2							
	9	6	ゴマシジミ生息調査			2							
	9	7	ゴマシジミ生息調査			2							
一年間の活動・参加者数										152			
成果・課題	《活動の成果・課題》 生息数は現状維持(1日最大25匹の個体を確認)だったが、活動をつづけ生息環境の観察とゴマシジミの生態系の研究を更に取り組み将来への布石としたい。また地元の資産として子供から大人まで感心をもってもらい継続性のある活動を目指したい。そのために浅川小の児童の育てたワレモコウを移植する活動等行う。												
《サポーター企業との活動》													
長野市協力課等			取組内容										
長野市開発公社			長野市霊園での保護活動										
浅川小学校			ワレモコウの育苗・植栽										

令和3年度活動報告書											
プロジェクト名			田中桜公園作り&里山づくりプロジェクト								
理想の街	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合あう地域・まち										
数値目標	参加目標260名（前期）桜公園「広場」づくり着手、東屋の形・設計図の検討、建設のための資金作りの検討・申請(後期)散策路の拡充・花壇拡充、東屋の基礎工事に進む。桜公園拡大のため、桜植樹計画と苗木申請、苗木の植樹会。										
行動計画	①散策路整備 沢を渡るちょっとした橋造りなど②花壇づくり＝夏・秋咲き花壇の引き続き作成と充実日時を決め、花壇づくりを行う。③東屋づくりの計画＝設計図を作り、材料および資金の計画を立て、資金を集め、基礎より着手。④桜公園拡大の桜植樹計画と苗木申請、⑤桜公園「広場」づくり 竹の抜根後、岩垂草などを植え付け、育成する。										
活動計画	①散策路の整備・全体の管理 月に4日の整備・草刈り作業を行う。②花壇作り＝冬場に植える植物の検討と選考 春に花壇作り、夏・秋咲き球根を植える計画を立てる。③東屋の検討を始める。ただし、検討した結果次第では次年度に送ることも考える。④苗木の用意を検討し、しかるべく宛てを考え計画が進展するように対応する。										
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数			
	6月	12	整備・草刈り作業	2	10月	3	整備・草刈り	4			
		13	同上	3	11月	6	同上	4			
		26	同上	4	12月	6	春の活動検討会	6			
		27	同上	4	1月	11	夏・秋咲きの多年草検討	3			
	7月	11	同上	3		24	同上	3			
		12	同上	3	2月	21	春の桜公園祭りの計画検討	4			
		24	同上	2	3月		桜公園便りの印刷配布	2			
		25	同上	2		21	桜苗の植え付け	6			
	8月	7	同上	4		27	桜公園作業	5			
		8	同上	4	4月	9	桜公園祭り前日準備	18			
		21	同上	2		10	桜公園祭り手入れ・多年草植え	46			
		22	同上	2		30	公園草刈り作業	4			
	9月	4	同上	3	5月	1	同上	4			
		5	同上	5							
	10月	2	同上	2							
	一年間の活動・参加者数								154		
成果・課題	《活動の成果・課題》 コロナ禍が継続する中だが、なんとか気をつけ、対処をしながら楽しみも交歓し合える形を考えて祭りや作業が出来た。ただ、計画したイベントがすべて実行できたわけで無かったことは残念だが、コロナ禍の様子を見ながら感染には気をつけながら活動が出来た事は成果だった。										
《サポーター企業との活動》											
長野市協力課等			取組内容								

令和3年度 ながの環境パートナーシップ会議 収支決算書

収入合計 2,044,432 円

支出合計 1,292,278 円

差引額 752,154 円

収 入						単位:円
内 容	3年度予算額	流 用 額	予算現額	収入 済 額	収入済額－予算現額	主 な 内 訳
I 負担金・会費	1,085,000		1,085,000	1,177,000	92,000	
1 負担金・会費	1,085,000		1,085,000	1,177,000	92,000	長野市負担金1,000,000円、会費
II 事業収入等	120,000		120,000	131,360	11,360	
1 事業収入	60,000		60,000	73,750	13,750	バナー広告料
2 雑収入	60,000		60,000	57,610	△ 2,390	寄付金、預金利息
3 助成金	0		0	0	0	
III 繰越金	736,072		736,072	736,072	0	
1 繰越金	736,072		736,072	736,072	0	
合 計	1,941,072	0	1,941,072	2,044,432	103,360	

支 出							単位:円
内 容	3年度予算額	流 用 額	予算現額	支 出 済 額	予算現額－支出済額	主 な 内 訳	
I 活動費	75,000	0	75,000	63,208	11,792		
1 自主事業活動費	60,000	0	60,000	58,208	1,792	環境団体大集合	
2 共催・参加事業活動費	15,000	0	15,000	5,000	10,000	長野エコ活動推進本部、地域まるごとキャンパス	
II プロジェクト活動費	1,198,800	11,478	1,210,278	836,220	374,058		
1 生ごみ削減・再生利用	235,500	11,478	246,978	246,978	0		
2 市民の森づくり	290,000	0	290,000	37,152	252,848		
3 太陽エネルギー普及促進	0	0	0	0	0		
4 聖山自然復元	0	0	0	0	0		
5 子どもの環境学習支援	0	0	0	0	0		
6 ながのカーボンオフセット	0	0	0	0	0		
7 小生物の育成環境保全	536,000	0	536,000	536,000	0		
8 生態系豊かな、水に親しめる川づくり	40,000	0	40,000	0	40,000		
9 ゴマシジミ保護・育成	0	0	0	0	0		
10 田中さくら公園作り＆里山づくり	47,300	0	47,300	16,090	31,210		
11 新規プロジェクト	50,000	0	50,000	0	50,000		
III 保険料	49,000	0	49,000	41,650	7,350		
1 保険料	49,000	0	49,000	41,650	7,350	ボランティア活動保険料	
IV 広報費	145,000	244,200	389,200	271,784	117,416		
1 啓発・報告書等費	120,000	244,200	364,200	264,000	100,200	新聞広告掲載料、活動報告書作成料	
2 ホームページ維持費	25,000	0	25,000	7,784	17,216	ホームページサーバー利用料	
V 事務局費	85,000	0	85,000	79,416	5,584		
1 事務局運営費	85,000	0	85,000	79,416	5,584	振込手数料等	
VI 予備費	388,272	-255,678	132,594	0	132,594		
1 予備費	388,272	-255,678	132,594	0	132,594		
2 助成金	0	0	0	0	0		
合 計	1,941,072	0	1,941,072	1,292,278	648,794		

項目別 差引簿(R3)

負担金・会費

単位:円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
2	R3.6.9	101	負担金・会費	会費:小林 清一 R3年度分	500	
3	R3.6.16	101	負担金・会費	会費:(5名分)安藤和夫、河西弘明、鳥居文男、有金一隆、稲葉真由美 R3年度分	2,500	
8	R3.6.24	101	負担金・会費	会費:(2名分)佐藤 敏夫、小山 清子 R3年度分	1,000	
11	R3.7.20	101	負担金・会費	長野市負担金	1,000,000	
15	R3.7.28	101	負担金・会費	会費:北原 宗子 R3年度分	500	
21	R3.8.4	101	負担金・会費	会費:長野都市ガス株式会社 R3年度分	500	
22	R3.8.6	101	負担金・会費	会費:株式会社 共同設備 R3年度分 他4名	4,000	
23	R3.8.11	101	負担金・会費	会費:NPO法人 長野県NPOセンター R2、R3年度分 他1名	4,000	
24	R3.8.12	101	負担金・会費	会費:(株)公害技術センター R1～3年度分	1,500	
26	R3.8.20	101	負担金・会費	会費:酒井 今朝重 R3年度分	500	
27	R3.8.26	101	負担金・会費	会費:普光寺 R2、R3年度分	1,000	
28	R3.8.27	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R2年度分	500	
29	R3.8.31	101	負担金・会費	会費:パナソニック株式会社ライフソリューション社関東電材営業部 R2、R3年度分 他2名	2,000	
30	R3.8.31	101	負担金・会費	会費:海沼 健一 R3年度分	1,000	
31	R3.9.1	101	負担金・会費	会費:ゆうちょ振込分	116,500	
33	R3.9.1	101	負担金・会費	会費:高野 勝人 R3年度分	500	
34	R3.9.1	101	負担金・会費	会費:西沢印刷 R1～3年度分	1,500	
35	R3.9.6	101	負担金・会費	会費:塚田 郭敏 R3年度分	500	
36	R3.9.7	101	負担金・会費	会費:錦織 広昌 R3年度分	500	
38	R3.9.13	101	負担金・会費	会費:株式会社 榮光 R3年度分	500	
39	R3.9.27	101	負担金・会費	会費:天空の里 いもい農場 R2、R3年度分	1,000	
40	R3.10.1	101	負担金・会費	会費:長澤 定人 R3年度分	500	
41	R3.10.1	101	負担金・会費	会費:小生物チーム	16,500	
42	R3.10.13	101	負担金・会費	会費:小林 哲也 R3年度分	500	
43	R3.11.17	101	負担金・会費	会費:平林 昭敏 R2、R3年度分	1,000	
44	R3.11.25	101	負担金・会費	会費:安田 元 R3年度分	2,000	
45	R3.12.10	101	負担金・会費	会費:長谷部 好紀 R3年度分	1,000	
48	R4.1.12	101	負担金・会費	会費:小山 勝宏 R1、R2、R3年度分	1,500	
49	R4.1.13	101	負担金・会費	会費:浅川住民自治協議会 ゴマシジミ保護・育成チーム R2、R3年度分	1,000	
61	R4.3.16	101	負担金・会費	会費:東京海上日動火災保険株式会社 R元年、R2年、R3年	1,500	
62	R4.3.18	101	負担金・会費	会費:遠藤 和夫 R元年、R2年、R3年	1,500	
63	R4.3.23	101	負担金・会費	会費:吉田 博、木下 雅裕 R3年分	1,000	
71	R4.5.16	101	負担金・会費	会費:市民の森所属17名 R3年分	8,500	
小計					1,177,000	-

事業収入

単位:円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
7	R3.6.18	201	事業収入	バナー広告掲載料(イコールゼロ株式会社)	15,000	
9	R3.7.5	201	事業収入	バナー広告掲載料(直富商事株式会社、株式会社ハウスプラザ信越)	30,000	
12	R3.7.20	201	事業収入	バナー広告掲載料(長野県NPOセンター)	15,000	
32	R3.9.1	201	事業収入	バナー広告掲載料(日本無線株式会社)	13,750	
小計					73,750	-

雑収入

単位:円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
25	R3.8.16	202	雑収入	預金利息	4	
51	R4.1.25	202	雑収入	長野卸売市場協同組合「長野市場ロール」寄付	57,600	
59	R4.2.21	202	雑収入	預金利息	6	
小計					57,610	-

繰越金

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
1	R3.6.1	301	繰越金	令和2年度繰越金	736,072	
小計					736,072	-

自主事業活動費

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
46	R3.12.23	401	自主事業活動費	会員宛「環境団体大集合」通知郵送代		5,208
47	R3.12.27	401	自主事業活動費	第5回理事会(第11回環境団体大集合リハーサル) 会場代		1,100
50	R4.1.13	401	自主事業活動費	第11回環境団体大集合 会場代(1/30 昼間)		2,400
53	R4.2.3	401	自主事業活動費	第11回ながの環境団体大集合 講師謝礼(北村氏)		13,200
54	R4.2.4	401	自主事業活動費	第5回理事会(第11回環境団体大集合リハーサル) 会場 設備利用料等		1,100
55	R4.2.4	401	自主事業活動費	第11回環境団体大集合 会場 設備利用料		7,200
60	R4.3.8	401	自主事業活動費	第11回ながの環境団体大集合 発表者等謝礼用クオカード購入		28,000
小計					-	58,208

共催・参加事業活動費

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
13	R3.7.19	402	共催・参加事業活動費	令和3年度長野エコ活動推進本部年会費		3,000
73	R4.5.16	402	共催・参加事業活動費	地域まるごとキャンパス登録料		2,000
小計					-	5,000

生ごみ削減・再生利用

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
16	R3.7.29	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分		117,750
58	R4.2.14	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分		117,750
76	R4.6.3	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生利用プロジェクト活動費 追加交付		11,478
小計					-	246,978

市民の森づくり

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
18	R3.7.29	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト 活動費 前期分		145,000
72	R4.5.16	502	市民の森づくり	市民の森 活動費 清算・戻入		△ 107,848
小計					-	37,152

小生物の育成環境保全

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
19	R3.7.30	507	小生物の育成環境保全	小生物の育成環境保全プロジェクト 活動費 前期分		268,000
56	R4.2.7	507	小生物の育成環境保全	小生物の育成環境保全プロジェクト 活動費 後期分		268,000
小計					-	536,000

田中さくら公園作り&里山づくり

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
74	R4.5.27	510	田中さくら公園作り&里山づくり	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト 活動費		16,090
小計					-	16,090

保険料

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
64	R4.3.23	601	保険料	令和4年度 ボランティア活動保険		41,650
小計					-	41,650

啓発・報告書等費

単位: 円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
65	R4.4.6	701	啓発・報告書等費	令和2年度ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書		244,200
68	R4.5.10	701	啓発・報告書等費	長野市民新聞「赤ちゃん新聞」広告掲載料		19,800
小計					-	264,000

項目別 差引簿(R3)

ホームページ維持費

単位:円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
5	R3.6.16	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		5,568
67	R4.4.14	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		2,216
小計					-	7,784

事務局運営費

単位:円

No.	起案日	番号	項 目	内 容 等	収入金額	支出金額
4	R3.6.11	801	事務局運営費	総会送付用はがき代		10,080
6	R3.6.17	801	事務局運営費	総会通知等郵送代		33,180
10	R3.7.7	801	事務局運営費	令和3年度通常総会表決結果通知郵送代		5,376
14	R3.7.19	801	事務局運営費	令和3年度長野エコ活動推進本部年会費 手数料		330
17	R3.7.29	801	事務局運営費	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分 手数料		880
20	R3.8.3	801	事務局運営費	令和3年度会費納入依頼郵送代		4,872
37	R3.9.8	801	事務局運営費	会員宛通知(メール無会員分)郵送代		5,208
52	R4.2.3	801	事務局運営費	第11回ながの環境団体大集合 講師謝礼(北村氏) 手数料		660
57	R4.2.14	801	事務局運営費	手数料生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 前期分		880
66	R4.4.6	801	事務局運営費	令和2年度ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書 振込手数料		550
69	R4.5.10	801	事務局運営費	長野市民新聞「赤ちゃん新聞」広告掲載料 振込手数料		330
70	R4.5.10	801	事務局運営費	令和2年度活動成果報告書 郵送代		15,750
75	R4.5.27	801	生ごみ削減・再生利用	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト 活動費 振込手数料		660
77	R4.6.3	801	市民の森づくり	生ごみ削減・再生利用プロジェクト活動費 追加交付 振込手数料		660
小計					-	79,416

監 査 報 告 書

令和4年6月3日

ながの環境パートナーシップ会議

代表理事 金 井 三 平 様

ながの環境パートナーシップ会議

監 事 小山 勝宏



監 事 小林 清一



私たちは、令和4年6月1日から令和4年6月3日までの令和3年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて収支決算書及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書及びその附属明細書は、令和3年度の収支状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 財産目録の内容は真実であると認める。
- (3) 事業報告書及びその附属明細書の内容は真実であると認める。
- (4) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは会則に違反する重大な事項はないと認める。

以上

令和 4 (2022) 年度運営方針 (案)

ながの環境パートナーシップ会議 代表理事 金井 三平

ながの環境パートナーシップ会議 (以下「P 会議」という) は、「アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2018」 (以下「アジェンダ 21 ながの」という) に掲げる長野市の環境ビジョン『山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの』の実現に向けて行動します。

令和 3 (2021) 年度は、世界がよりよい未来を迎えるために果たす目標として、国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs) ※」 (以下「SDGs」という) の達成を地域からパートナーシップで実現するため、P 会議及び各プロジェクトチームが SDGs 達成への貢献を意識しながら環境活動を推進しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により活動が困難だった年でもありました。

令和 4 (2022) 年度は、活動を停滞させることなく、さらに SDGs への理解を深めるため、P 会議及び各プロジェクトチームが SDGs 達成への貢献を意識しながら環境活動を推進していきます。

また、プロジェクトサポーター制度を推進するとともに、活動成果報告書やホームページ、SNS などの広報ツールを活用し、事業者を含む新規会員を確保することで、P 会議の活性化を更に進めていきます。

私達は、市民・事業者・行政との協働を拡大させ、地域の豊かな環境を持続させるため、「つなぐ・伝える・実践する」活動に取り組みます。

具体的な行動として

1 「アジェンダ 21 ながの」を推進します

「アジェンダ 21 ながの」に基づき、長野市域で環境問題に取り組む市民・事業者・団体・行政との更なる協働による環境活動を推進します。

令和 4 (2022) 年度は、P 会議と各プロジェクトの連携強化による活動の充実 (**実践する**) とともに、その活動を広く発信 (**伝える**) し、次世代につながる (**つなぐ**) 発展的な行動により、環境ビジョンの実現を目指します。

(1) P 会議とプロジェクトチームの連携強化と環境活動の充実を図ります (実践する)

「アジェンダ 21 ながの」の趣旨に沿った活動に取り組む外部団体・事業者との共催や参加などを通じ、協働の拡大を図ります。

① 主催事業の開催

令和4（2022）年度は、昨年に引き続き、ながの環境団体大集合について、若者が参画するスペシャルプロジェクトチームを早期に組織し、団体・事業者・学校やプロジェクトチームなどの環境活動を「つなぐ・伝える・実践する」場として、各団体の活動の相互理解が推進され、更には、新規会員の入会につながるよう、充実した主催事業を展開します。

② 他団体との共催・参加・支援

各団体との共催や環境活動へ参加及び支援を通じて、若い世代や市民・事業者などにP会議の活動を広く発信し、協働による活動の参加を呼びかけます。

（例）信州環境フェア、長野市環境こどもサミット、アレチウリ駆除作業、ごみひろい運動、山の日ウォーキング、信州大学地域環境演習、地域づくり出合いのひろば、地域まるごとキャンパスなど

③ 理事会とプロジェクトチームの連携強化

理事会とプロジェクトチームの連携を強化し、一体となって環境活動を進めていくため、合同会議を適宜開催します。理事会がプロジェクトチームの活動を把握し、各プロジェクトの連携等助言及び支援することでプロジェクトチームの活動の充実を図ります。

④ 「脱 使い捨てプラスチック」を目指すための調査研究

プラスチックゴミによる海洋汚染の懸念から使い捨てプラスチック製品の使用削減が世界的に進んでいることを受け、長野市域におけるリユース食器の導入・普及促進や麦ストローの製造・普及促進などについて調査研究を関係機関とともに進めます。

⑤ 気候変動によって発生する問題の解決に向かった取り組み

長野市の台風19号による千曲川の浸水被害は甚大なものであり、今後も起こりうることを考えられます。2050 ゼロカーボン宣言に基づき二酸化炭素を減らすために、市民・事業者・行政のそれぞれが危機感を持って再生可能エネルギーを積極的に導入し、森林や里山、水環境資源の適切な管理を行うことを目指します。

（2）ながの環境パートナーシップ会議の活動を広く発信します（伝える）

P会議及びプロジェクトチームの活動状況と成果を活動成果報告書「手をむすんで」にまとめ、P会議の活動をより積極的にアピールします。また、ホームページなどに加えて、SNS（フェイスブック）を活用し、市民・事業者・団体などに広く情報発信を行い、環境意識の啓発に努めるとともに新規会員の入会につなげます。

(3) 次世代につながり成果の見える活動を行います（つなぐ）

目標である長野市の環境ビジョンの実現に向けた活動を強化するため、プロジェクトサポーター制度を更に推進し、団体や事業者との協働の拡大を図るとともに、世代をつないだ活動基盤を構築するため、特に次世代の若者との協働による活動を進めます。

2 持続可能な環境パートナーシップ会議を目指します

P会議の活動が今後も持続するために、次の項目を実施します。

(1) プロジェクトチームを充実・拡大します（実践する）

自由な発想で楽しみながら取り組める環境活動の提案を積極的に受け入れ、P会議の新規プロジェクトとして立ち上げていくなど組織の拡充を図ります。

(2) 仲間づくりの推進と会員の増員を図ります（つなぐ）

充実した環境活動を行っていくためには、市民・事業者・専門家・若者など、多様な知見・能力を有している方々の集積が必要です。会員・プロジェクトチーム・理事会が協力し、また、それぞれの立場で次世代の仲間づくりを進めるとともに、会員の増員を図ります。

(3) 新規会員等を対象にした研修会を開催します（伝える）

P会議の活動をより理解していただくとともに、協働による事業展開を推進していくため、引き続き新規会員や事業者を対象にした研修会を開催します。

(4) 充実した活動を実行するために活動資金を確保します（実践する）

市負担金の増額をお願いするとともに、各プロジェクトチームでの環境活動支援団体の助成金、企業等からの寄付金・協賛金を積極的に活用します。

※【 参 考 】

SDGsとは・・・

2015 年(平成 27 年)9月、国連において、新たなアジェンダとして「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が全会一致で採択されました。これは、人類の発展や地球の繁栄のため 2030 年までに達成すべき行動計画として、宣言と目標を掲げたものです。

この目標が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals 略して SDGs(エスディー ジーズ))」であり、これまでのアジェンダ 21 やミレニアム開発目標(MDGs)」などの理念と成果を 土台に、豊かさを追求しながら地球を守ることを呼びかける 17 の目標と 169 の行動計画で構成 され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、環境問題と経済発展を両軸に、先進国、発展途 上国を含めた全ての国々に持続可能な世界に向けての変革を求めています。



◎令和4年度活動目標・活動計画・予算書(案)

	ながの環境パートナーシップ会議（事務局）							
理想の街 （目指す姿）	山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの							
R4	目標・数値目標			行動計画				
	地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐ			・アジェンダの進捗管理を通じ、環境保全活動を推進していく。 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「行動する」活動を充実させる。				
R5	目標・数値目標			行動計画				
	地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐ			・アジェンダの進捗管理を通じ、環境保全活動を推進していく。 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「行動する」活動を充実させる。				
R6	目標・数値目標			行動計画				
	地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐ			・アジェンダの進捗管理を通じ、環境保全活動を推進していく。 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「行動する」活動を充実させる。				
数 値 目 標 （ 長 期 ）	環境保全活動参加者数：4,000人（第三次長野市環境基本計画 R8年度目標値）			令和4年度目標活動参加人数				
				4,000 人				
（支出の部）								
	区 分		実施予定	予 算 額	内 容		金 額：円	
本年度活動計画	A	活動費	未定	75,000	1. 自主事業活動費		60,000	
					ながの環境団体大集合			30,000
					公開学習会			30,000
			6月 10月 3月	2. 共催・参加事業活動費	長野エコ活動推進本部年会費		3,000	
					山の日ウォーキング		10,000	
	地域まるごとキャンパス参加費				2,000			
	B	保険料	通年	49,000	1. ボランティア保険（年@350×140人）		49,000	49,000
	C	広報費	通年	325,000	1. 啓発・報告書等費		300,000	
					広告料（新聞）			40,000
					「手をむすんで」作成発送費			260,000
			通年		2. ホームページ維持費		25,000	
					レンタルサーバー利用料・ドメイン利用料			9,000
					facebook管理費			16,000
	D	事務局費	通年	85,000	1. 事務局運営費		85,000	
事務消耗品費・振込手数料		20,500						
活動成果報告書送料（@250×50人）		12,500						
R2総会通知（出欠席葉書・郵送料）		26,000						
R3総会通知（出欠席葉書・郵送料）		26,000						
E	予備費		314,154	1. 予備費		314,154	314,154	
							0	
支出予算額合計				848,154	支出積算額合計		848,154	
（収入の部）								
	区 分		実施予定	予 算 額	内 容		金 額：円	
本年度活動計画	A	負担金・会費	通年	1,080,000	会費（@500×160人）		1,080,000	
					市負担金 1,000,000円			80,000
								1,000,000
	B	事業収入等	通年	95,000	1. 事業収入		45,000	
					ホームページバナー（@15,000×3社）			45,000
					2. 雑収入			50,000
					寄付金			
3. 助成金		0						
C	繰越金（仮）		752,154	1. 前年度繰越金		752,154	752,154	
			収入予算額合計				1,927,154	

収支合計	△ 359,000
------	-----------

◎令和4年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名		市民の森づくりプロジェクト			
理想の街 (目指す姿)		四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち			
R4	目標・数値目標		行動計画		
	前年以上の市民、他団体との連携を図る 市民の森づくりに500人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする		・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、多くの人に参加してもらい、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行い、また活動の広がりの検討を重ねる。 ・地元住民との交流や多くの他団体、個人、事業者との連携を図る。 ・活動再開に当たっては、安全対策の再検討を実施、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。		
R5	目標・数値目標		行動計画		
	前年以上の市民、他団体との連携を図る 市民の森づくりに500人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする		・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、多くの人に参加してもらい、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行い、また活動の広がりの検討を重ねる。 ・地元住民との交流や多くの他団体、個人、事業者との連携を図る。 ・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。		
R6	目標・数値目標		行動計画		
	前年以上の市民、他団体との連携を図る 市民の森づくりに600人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする		・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、多くの人に参加してもらい、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行い、また活動の広がりの検討を重ねる。 ・地元住民との交流や多くの他団体、個人、事業者との連携を図る。 ・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。		
数値目標 (長期)				令和4年度目標活動参加人数	
				500人以上	
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
本年度活動計画	A	森林整備 林業講座	4月～12月	消耗品費(チェーンソー替刃、刈払機の替刃等)	30,000
				燃料費(チェーンソーのガソリン、オイル等)	20,000
				ユニック車他レンタル料金	20,000
				整備機材(チェーンソー等)	60,000
				材料費(ロープ、杭等)	20,000
	B	秋の里山散策	10月	材料費	10,000
	C	きのこのコマ打ち体験会	4月	きのこの種駒等	20,000
	D	かんじき体験会	2月	かんじき材料(麻縄、針金等)	15,000
	E	工作・自然観察会	6月～10月	工作用材料(ボンド、マジック、金具等)	10,000
	F	傷害・賠償保険料(会員)	年間	保険料	50,000
	G	行事保険料(一般参加者)	年間	保険料(里山散策、コマ打ち、かんじき体験会等)	6,000
	H	会議用資料代	年間	コピー、印刷費等	12,000
	支出合計				273,000
	区分(収入の部)				
	A	秋の里山散策(B)	10月	参加費(保険料)(@200×20)	4,000
	B	きのこのコマ打ち体験会(C)	4月	参加費(保険料)(@200×20)	4,000
	C	かんじき体験(D)	2月	参加費(保険料、材料費)(@1000×15)	15,000
	収入合計				23,000

収支合計

△ 250,000

◎令和4年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	松代オオムラサキの里				
理想の街 (目指す姿)	身近な自然環境を守り後世に残すため、里山の小生物(オオムラサキ・カトムシ・クワガタ)などの生育環境を再生し松代に自生するエドヒガン・野生モモが咲く豊かな自然環境の保全を目指す。オオムラサキ含めジャコウアゲハ・アゲハチョウ・キアゲハ・アサギマダラなどが自然に舞う環境の構築に努め啓発活動を進める。				
R4	目標・数値目標		行動計画		
	・小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。 ・市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。 ・小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会を恒常的に開催する。		・小中学校自然観察会恒常的に行うシステムの構築。		
R5	目標・数値目標		行動計画		
	・小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。 ・市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。 ・小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会を恒常的に開催する。		・小中学校自然観察会恒常的に行うシステムの構築。		
R6	目標・数値目標		行動計画		
	・小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。 ・市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。 ・小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会を恒常的に開催する。		・小中学校自然観察会恒常的に行うシステムの構築。		
数値目標 (長期)	竹ノ入を中心にした学習林を軸に長野市の豊かな自然環境の保全を市民が共有できる環境思想の向上を図る。 オオムラサキの保全を通して、多くの人が環境問題に関心を持つように活動を推進する。			令和4年度目標活動参加人数	
				500人以上	
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
本年度活動計画	A	竹ノ入整備作業に使用	5月～翌年6月	刈払機 2台	80,000
		チェーンソーに使用		チェーンソーオイル 3本	5,000
		竹ノ入整備作業に使用		刈払機の刃 10枚	35,000
		小生物保護活動に使用		オオムラサキ・小生物飼料	5,000
		フジバカマ・ウマノスズクサ育苗		肥料(化成肥料) 5袋	5,000
		竹ノ入整備作業に使用		重機レンタル代	60,000
	B	「フジバカマ」育苗・植樹に使用	5月～翌年6月	培養土40ℓ入30袋	15,000
		チェーンソー及び刈払機に使用		燃料(ガソリン・混合油)	40,000
		フジバカマ・ウイキョウ植栽地借地料		借地料(西澤宅)	10,000
	C	共通事項(事務費等)	5月～翌年6月	葉書代	30,000
		総会資料印刷代 他		インク・コピー用紙等	35,000
		作業時飲料水代		作業時飲料水代	10,000
		総会・役員会の会場費		会場費	10,000
		観察会に使用するマイクセット		マイクセット	15,000
		理事会・その他イベント参加の交通費		交通費	10,000
	D	コロナ感染症対策(観察会等)	6月	アルコール・フェイスガード等	5,000
	支出合計				370,000
	区分	(収入の部)			
	A				
	B				
	収入合計				0

収支合計 △ 370,000

◎令和4年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	自然豊かにして清らかな川は、大気土壌と動的平衡を保ち生物の多様性に潤ったまち。					
R4	目標・数値目標		行動計画			
	①生態系豊かで水に親しめる川づくりの活動に向けた行動方針の検討をする。 ②ながの環境パートナーシップ他の団体に協力する		①生態系豊かな水に親しめる川づくり事業の策定 ②長野市主催の環境学習会水生生物調査「夏の川遊び1、2への協力			
R5			行動計画			
	チーム独自の活動の実施		前年度策定した事業の課題等を検討し、目標達成ために行動する			
R6	目標・数値目標		行動計画			
	チーム独自の活動の実施		前年度事業の課題を検討し、目標達成のために行動する			
数値目標 (長期)				令和4年度目標活動参加人数		
				人以上		
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額	
本年度活動計画	A	事業課題調査及び長野市主催環境学習会水生生物調査「夏の川遊び」への協力		胴付き長靴	20,000	
	B	公開学習会への参加 長野環境団体大集合への参加		写真資料代	10,000	
	C					
	D					
	支出合計					30,000
	区分	(収入の部)				
	A					
	B					
	収入合計					0

◎令和4年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名		田中桜公園作り&里山づくりプロジェクト				
理 想 の 街 (目 指 す 姿)		若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合あう地域・まち				
R4	目標・数値目標		行動計画			
	参加目標180名 (前期)①散策路整備橋＝造り4年計画 ②花壇・花木の充実 ③R5年度東屋建設計画推進・資金申請 (後期)④桜公園拡大計画検討 ⑤桜公園「広場」づくりの推進		①散策路整備 沢を渡るちょっとした橋造りなど②四季折々に楽しめる花壇・花木の計画作成と苗の購入③東屋づくりの計画を立て、資金を集め、着工準備に着手。④桜公園拡大4年計画の1年目桜植樹計画作成⑤桜公園「広場」づくり 4年計画で竹を日本古来の方法で竹の抜根後、岩垂草などを植え付け、育成する。			
R5	目標・数値目標		行動計画			
	参加目標200名 (前期)東屋の棟上げ・花壇の充実と案内板設置計画、広場づくり2年目の活動 (後期)桜祭りの準備と実施		5月から8月 東屋づくりに取りかかる。一部の大人だけの作業となる。安全に配慮しながら子供たちのできる活動を考え出し、みんなが参加し作った充実感を生み出す。また、広場づくりの活動を継続。竹の抜根作業継続。10月から4月 散策路の拡充・花壇の拡充に取り組む。桜祭りで東屋披露式ベンチ設置、用水路改修。広場の岩垂草の手入れ			
R6	目標・数値目標					
	参加目標270名 桜公園を拠点に土京山の里山づくりをどう進めるか考え合う。必要な学習会を行い、土京山の現状と里山らしさを取り戻すための学習し、知識を養う。7年計画案を作成する。広場づくりの活動3年目		桜公園も公園らしさがまし、桜の木も育ち、名所と胸を張れる頃となる。桜公園を拠点にしてさらに土京山の里山回復計画を考える。講師を招き、また、計画を地権者にも話し、合意を進める会を持つ。広場づくりの活動継続			
数 値 目 標 (長 期)		コロナ禍の収まる見通しの無い中で、形態を工夫しながら活動をそれなりに行えた3年度の経験を生かし、実績を積み上げたい。 180人～250人へ		令和4年度目標活動参加人数		
				180	人以上	
	区分	予算(支出の部)	予定月	説 明	金 額	
本年度活動計画	A	公園内の小さな沢に橋を架けるための材料費		ステン釘、コンクリート、防腐剤	10,000	
		花壇づくり3年度目		アジサイなどの花木の購入費	10,000	
	B	通信費 広報費 草刈り燃料費など諸経費		インク代、紙代、ガソリン代	20,000	
		会議費		お茶代	2,000	
	C					
	D					
	E					
	支出合計					42,000
	区分	(収入の部)				
	A	一般社団法人田中里山づくり里おこし事業会より				22,000
	B					
収入合計					22,000	

収支合計

△ 20,000

令和4年度 ながの環境パートナーシップ会議 予算書(案)

収入

単位:円

項 目	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4予算額－ R3予算額	説 明
I 負担金・会費	1,085,000	1,177,000	1,080,000	△ 5,000	
1 負担金・会費	1,085,000	1,177,000	1,080,000	△ 5,000	市負担金(1,000千円)、会費(500円×160)
II 事業収入等	120,000	131,360	95,000	△ 25,000	
1 事業収入	60,000	73,750	45,000	△ 15,000	バナー広告料(15,000円×3社)
2 雑収入	60,000	57,610	50,000	△ 10,000	
3 助成金	0	0	0	0	
III 繰越金	736,072	736,072	752,154	16,082	
1 繰越金	736,072	736,072	752,154	16,082	前年度繰越金
合 計	1,941,072	2,044,432	1,927,154	△ 13,918	

支出

単位:円

項 目	R3予算額	R4決算額	R4予算額	R4予算額－ R3予算額	増 減 理 由
I 活動費	75,000	63,208	75,000	0	
1 自主事業活動費	60,000	58,208	60,000	0	ながの環境団体大集合、公開学習会
2 共催・参加事業活動費	15,000	5,000	15,000	0	長野エコ活動推進本部、山の日イベント、地域まるごとキャンパス
II プロジェクト活動費	1,198,800	836,220	1,079,000	△ 119,800	
1 生ごみ削減・再生利用	235,500	246,978	359,000	123,500	
2 市民の森づくり	290,000	37,152	250,000	△ 40,000	
3 太陽エネルギー普及促進	0	0	0	0	
4 聖山自然復元	0	0	0	0	
5 子どもの環境学習支援	0	0	0	0	
6 ながのカーボンオフセット	0	0	0	0	
7 松代オオムラサキの里 ※R3年度は小生物の育成環境保全	536,000	536,000	370,000	△ 166,000	
8 生態系豊かな、水に親しめる川づくり	40,000	0	30,000	△ 10,000	
9 ゴマシジミ保護・育成	0	0	0	0	
10 田中さくら公園作り&里山づくり	47,300	16,090	20,000	△ 27,300	
11 新規プロジェクト	50,000	0	50,000	0	
III 保険料	49,000	41,650	49,000	0	
1 保険料	49,000	41,650	49,000	0	ボランティア活動保険料(350円×140)
IV 広報費	145,000	271,784	325,000	180,000	
1 啓発・報告書等費	120,000	264,000	300,000	180,000	新聞広告料(40,000円)、「手をむすんで」作成発送費(260,000円)
2 ホームページ維持費	25,000	7,784	25,000	0	レンタルサーバ、ドメイン使用料、HP維持費
V 事務局費	85,000	79,416	85,000	0	
1 事務局運営費	85,000	79,416	85,000	0	事務消耗品、振込手数料、郵送料
VI 予備費	388,272	0	314,154	△ 74,118	
1 予備費	388,272	0	314,154	△ 74,118	
2 助成金	0		0	0	
合 計	1,941,072	1,292,278	1,927,154	△ 13,918	

理事 候補者名簿

(立候補届け順)

6	5	4	3	2	1
		赤羽 和春	倉又 保雄	有金 市隆	河西 弘明

[任期] 令和4年7月4日～令和6年度の通常総会時まで

監事 候補者名簿

(立候補届け順)

6	5	4	3	2	1
				小林 清一	小山 勝宏

[任期] 令和4年7月4日～令和8年度の通常総会時まで

**新聞記事等で見える
ながの環境パートナーシップ会議・
関係団体の活動**

R3.6.1～R4.5.31

ながの環境パートナーシップ会議 新聞等掲載一覧表（R3.6.1～R4.5.31）

番号	掲載年月日	掲載新聞名 ・広報紙名	掲載記事見出し	掲載記事の関係団体名 (P会議プロジェクト及びP会議会員団体等)
1	R3.7.3	長野市民新聞	オオムラサキと児童触れ合う 松代町東条の林で	小生物の育成環境保全PT
2	R3.7.31	長野市民新聞	ゴマシジミ舞う 浅川の市霊園	ゴマシジミ保護育成PT
3	R3.10.26	長野市民新聞	SDGs達成への挑戦 地域を救え！地球を救え！ (寺澤順子氏コラム)	※コラム内にて環境保全を進める団体の一例としてP会議が紹介される。
4	R4.3.29	長野市民新聞	芋井で農作業しよう	天空の里 いもい農場
5	R4.4.10	長野市民新聞 (PR版)	会員募集 広告	ながの環境パートナーシップ会議
6	R4.4.26	長野市民新聞	会員募集 広告	ながの環境パートナーシップ会議
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

ながの環境パートナーシップ会議に関する掲載記事(抜粋)

R3.7.3 長野市民新聞



オオムラサキと 児童触れ合う

松代町東条の林で

オオムラサキを手
に乗せて観察する
児童

児童たちは成虫
を見つけ、「飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん

で飛ん



園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

園内で羽を休めるゴ
マシジミ(29日撮影、
北條さん提供)

ゴマシジミ舞う

浅川の
市霊園

浅川の
市霊園

浅川の
市霊園

浅川の
市霊園

浅川の
市霊園

R3.7.31 長野市民新聞

日本のコウソトリやトキが国土から消えてしまったのを知っていますか？ 遺伝子の近い鳥を国外から入手し、保護機関を作った増やそうと努力しています。が、餌となる水生生物が減っているなどの理由からなかなか育ちません。生きとし生けるものは皆つながっているのです。



この課題は、国連生物多様性条約締約国会議(通称COP)が中心となって解決にあたっています。2010

進む生物多様性の損失

回復に向けて行動を



芋井地区の田んぼで見られた生物たち
(2015年、筆者撮影)

この課題は、国連生物多様性条約締約国会議(通称COP)が中心となって解決にあたっています。2010

世界人口は約78億、自然の損失をなくし

地域を救え！
地球を救え！

寺澤順子

作放棄地の放置、河川工事、農業散布など、人間の都合により小さな生き物たちがどんどん姿を消しています。

年に愛知県で開催されたCOP10では「自然と共生する世界」を長期目標に、短期的には「効果的かつ緊急の行動がとられ、20の具体

回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」な社会を実現させるため、日本も行動を起こす必要があります。来年4月開催予定のCOP15第2部では、30年

R3.10.26
長野市民新聞

かけがえのない環境を
次世代の子どもたちへつなげるために
一緒に環境活動をはじめませんか？

こんな活動をしています

- 生ごみ削減・再生利用
- 市民の森づくり
- 太陽エネルギー普及促進
- 子どもの環境学習支援
- 聖山の自然復元
- カーボンオフセット制度の調査・研究
- 小生物の育成環境保全
- 水環境の保全
- ゴマシジミの保護活動
- 桜公園環境整備 ほか



ながの環境パートナーシップ会議

長野市環境保全温暖化対策課内
事務局／〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 電話026-224-5034 FAX026-224-5108

R4.4.10
長野市民新聞(PR版)
R4.4.26
長野市民新聞

ながの環境パートナーシップ会議会則

平成21年 6 月25日

改正 平成21年10月17日

一部改正 平成22年 6 月 5 日

一部改正 平成23年 6 月 4 日

一部改正 平成24年 6 月10日

一部改正 平成30年 6 月17日

一部改正 令和 2 年 8 月 6 日

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会は、ながの環境パートナーシップ会議と称する。

(事務所)

第 2 条 本会の事務所は、長野市環境部環境保全温暖化対策課内に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 本会は、長野市域における環境を保全するためのネットワークを築くとともに、地球規模の環境問題へ視野を広げ、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐことを目的とする。

(事業)

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「アジェンダ21ながの一環境行動計画」の推進
- (2) 環境保全に関する普及啓発
- (3) 環境保全活動を行う団体等の支援
- (4) 環境の保全と創造に関する提言
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事業

第 3 章 会員

(会員)

第 5 条 本会は、目的に賛同する市民及び団体並びに行政機関をもって構成する。

2 会員は、正会員及び本会の活動を支援する賛助会員とする。

(入会)

第 6 条 本会の会員になろうとするものは、別に定める入会申込書を代表理事に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(会費)

第 7 条 会員は、会費を納入しなければならない。

- 2 会費は年会費とし、その金額は理事会でこれを定める。
- 3 既納の会費は、返還しない。

(退会)

第 8 条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この会則その他この会則に基づく規程に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上の期間にわたり履行しなかったとき。
- (2) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

第4章 役員

(役員の設定)

第11条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
- (2) 監事 2人以内

2 理事のうち1人を代表理事とする。

3 代表理事以外の理事のうち2人を副代表理事とする。

(役員の選任)

第12条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、理事のうちの1人は、長野市環境部長の職にある者をもってあてる。

2 代表理事及び副代表理事は、理事の互選とする。

(理事の職務及び権限)

第13条 理事は、理事会を構成し、この会則の定めるところにより、職務を執行する。

2 代表理事は、この会則の定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行する。

3 副代表理事は、代表理事を補佐し、代表理事に事故あるときは、その職務を代行する。

(監事の職務及び権限)

第14条 監事は、理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、幹事に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第15条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第11条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第16条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(顧問)

第17条 本会に、任意の機関として、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 代表理事の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について意見を述べること。

3 顧問の選任は、理事会において決議する。

4 顧問の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない

第5章 総会

(種別)

第18条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第19条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

(権限)

第20条 総会は、次の事項について決議する。

(1) 会則の変更

(2) 理事及び監事の選任又は解任

(3) 会員の除名

(4) 事業計画及び収支予算

(5) 事業報告及び収支決算

(6) 解散及び残余財産の処分

(7) その他本会に関する重要な事項

(開催)

第21条 通常総会は、毎年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。

(2) 総会員の10分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(招集)

第22条 総会は、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。

2 代表理事は、前条第2項各号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁記録をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

(議決権)

第24条 総会における議決権は、正会員1人につき1個とする。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(決議)

第26条 総会の議事は、この会則に別に規定するもののほか、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。この場合において、議長は、正会員として議決に加わる権利を有しない。

(書面主義)

第27条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。

2 災害等の緊急事態において、代表理事が必要と認め理事会が承認したときには、あらかじめ通知された事項について、正会員の過半数が書面をもって表決することで、総会が開催されたこととみなすことができる。

(議事録)

第28条 総会の議事については、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事のうち1人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 理事会

(構成)

第29条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 代表理事及び副代表理事の選定及び解職
- (3) その他本会の運営に関し必要な事項

(招集)

第31条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 代表理事が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議をのべたときは、その限りでない。

(会議記録)

第33条 理事会の議事については、確認事項等を記載した会議記録を作成する。

第7章 プロジェクトチーム等

(プロジェクトチーム)

第34条 第4条に規定する事業を推進するため、プロジェクトチームを置くことができる。

- 2 プロジェクトチームは、希望する会員をもって構成する。
- 3 プロジェクトチームは、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する。

(プロジェクト実施会議)

第35条 第4条に定める事業を推進するため必要と認められる場合、プロジェクト実施会議を開催することができる。

- 2 プロジェクト実施会議は、プロジェクトチーム、長野市関係課、顧問等事業の推進に必要な者及び事務局又は理事をもって構成する。

第8章 事務局

(設置等)

第36条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び職員は、代表理事が任命する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の承認を経て、代表理事が別に定める。

第9章 資産及び会計

(資産の構成)

第37条 本会の資産は、次に掲げる事項をもって構成する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金品
- (3) 事業に伴う収入
- (4) 資産から生ずる収入
- (5) その他の収入

(資産の管理)

第38条 資産は、代表理事が管理し、その方法は、理事会の決議を経て代表理事が別に定める。

(経費の支弁)

第39条 本会の経費は、資産をもって支弁する。

(事業年度)

第40条 本会の事業年度は、毎年6月1日に始まり翌年の5月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第41条 本会の事業計画及び収支予算は、毎事業年度の開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、当該事業年度が終了するまでの間、事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(暫定予算)

第42条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代

表理事は、理事会の決議を経て、予算の成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第43条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を経て、通常総会に報告しなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 収支決算書
- (4) 収支決算書の附属明細書
- (5) 財産目録

第10章 会則の変更及び解散

(会則の変更)

第44条 この会則は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第45条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(財産の贈与)

第46条 本会が解散する場合には、総会の決議を経て、財産残額に相当する額の財産を、地方公共団体に贈与するものとする。

第11章 公告の方法

(公告の方法)

第47条 本会の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法による。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成21年10月17日から施行する。

(経過措置)

2 最初の総会は、ながの環境パートナーシップ会議会則（平成13年5月8日制定。以下「旧会則」という。）第4条第1項各号に規定する者が招集することができる。

3 この会則の施行の日前に旧会則の規定に基づく会員であったものは、第6条の規定に関わらず、本会の会員とする。

4 本会の会費は、平成22年5月31日までの間は、第7条第1項の規定にかかわらず、納入を要しない。

(役員任期の特例)

5 最初の総会で選任される幹事及び監事の任期は、第15条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成22年に開催される通常総会の終結の時までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月17日から施行する。

附 則

この会則は、平成 22 年 6 月 5 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 23 年 6 月 4 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 24 年 6 月 10 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 30 年 6 月 17 日から施行する。

附 則

この会則は、令和 2 年 8 月 6 日から施行する。